

Pioneer

**重
要**

販売店で取り付けを行った場合は、モード切り換えスイッチをどのモードに切り換えているか確認してください。

7.0型ワイドAVシステムTVパック

AVX-P7700W

取扱説明書

carrozeria

目次 6ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



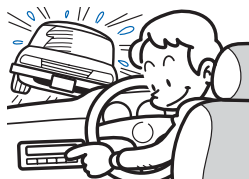
必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

警告

[異常時の処置]

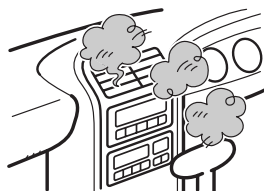
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



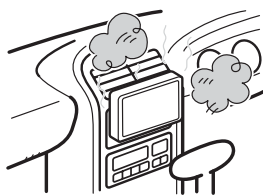
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

[使用方法]

モニター部にヒーター熱を当てない



必ず行う

モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

目次

はじめに はじめに

- 1 上手にお使いいただくために 8
- 2 モード切り換えについて 9
- 3 ナビゲーションと組み合わせる場合 10
- 4 本書の見かた 11
- 5 本機の各部のなまえ 12
- 6 リモコンの準備 13
- 7 モニターを立ち上げる / 角度を調節する / 収納する 14

NAVI MASTER モード

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 テレビのふだんの操作 16
映像を切り換える
放送局を選ぶ

TVを見る テレビを見る

- 1 複数のチャンネルを自動的に記憶させる 18
- 2 記憶させたチャンネルを呼び出す 19
- 3 2カ国語放送の副音声を聞く 19

便利な機能 便利な機能

- 1 見たい映像を表示させる 20
- 2 内蔵スピーカーから出力される
音量を調節する 20
- 3 内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ 21
- 4 チャンネルを確認する 21

AUDIO MASTER モード

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 テレビのふだんの操作 22
映像を切り換える
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する

TVを見る テレビを見る

- 1 モードの切り換えかた 25
- 2 複数のチャンネルを自動的に記憶させる 26
- 3 記憶させたチャンネルを呼び出す 27
- 4 2カ国語放送の副音声を聞く 28
- 5 チャンネルの選局方法について 29

便利な機能 便利な機能

- 1 見たい映像を表示させる 30
- 2 内蔵スピーカーから出力される
音量を調節する 30
- 3 内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ 31
- 4 チャンネルを確認する 31
- 5 よく使う機能を学習させる 32

TV MASTER モード

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 テレビのふだんの操作 34
映像を切り換える
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ

TVを見る テレビを見る

- 1 複数のチャンネルを自動的に記憶させる 36
- 2 記憶させたチャンネルを呼び出す 37
- 3 2カ国語放送の副音声を聞く 37

便利な機能 便利な機能

- 1 見たい映像を表示させる 38
- 2 内蔵スピーカーから出力される
音量を調節する 38
- 3 内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ 39
- 4 チャンネルを確認する 39

共通

TVの設定

テレビの設定

- | | | |
|---|----------------------|----|
| 1 | 設定メニューの切り換えかた | 40 |
| 2 | 映像の黒の濃さや色を調整する | 41 |
| 3 | 液晶画面の明るさを調整する | 42 |
| 4 | ビデオを見られるようにする | 43 |
| 5 | カーステレオのスピーカーで聞く音声を選ぶ | 44 |
| 6 | 音声をFMラジオで聞く | 45 |
| 7 | FMトランスミッターのレベルを調整する | 46 |
| 8 | モニターの自動開閉の設定 | 47 |
| 9 | モニターを自動で後ろに下げる | 47 |

その他

その他の機能と付録

- | | | |
|---|--------------------|----|
| 1 | ワイド画面の拡大のしかたを切り換える | 48 |
| 2 | モニターの正しい使いかた | 50 |
| 3 | 故障かな？と思ったら | 52 |
| 4 | 本機のリセットについて | 54 |
| 5 | 保証書とアフターサービス | 55 |
| 6 | おもな仕様 | 56 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここ
だけ
読めば
すぐ
使え
ます

はじめに

NAVI MASTER モード

テレビを見る

便利な機能

AUDIO MASTER モード

テレビを見る

便利な機能

TV MASTER モード

テレビを見る

便利な機能

共通

テレビの設定

その他の機能と付録

安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、次のようなメッセージが表示されません。)また、走行中に設定メニュー (☰ TVの設定 ① 40ページ) を操作しないでください。

例：テレビを見ようとしたとき



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

必ず、[黒の濃さ] や液晶画面の明るさを調整してください

液晶モニターは、構造上きれいに見える角度が限られていますが、左右方向の角度は [黒の濃さ] を調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて [黒の濃さ] を調整してください。また、液晶の画面自体の明るさも変更できますのでお好みに応じて調整してください。(☰ TVの設定 ② 41ページ)

バッテリー上がりを防ぐために

本機は、必ず車のエンジンをかけてご使用ください。車のエンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときに、携帯電話のアンテナをモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

モニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間放置しておくと、高温のために液晶画面が故障する恐れがあります (☰ その他 ② 50ページ)

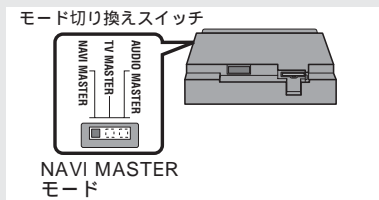
モード切り換えについて

本機は、組み合わせるシステムによって、モードを切り換える必要があります (取付説明書)。モードにはNAVI MASTER、AUDIO MASTER、TV MASTERの3種類があり、操作が一部異なります。モード切り換えは、本機の側面にあるモード切り換えスイッチで切り換えます。本機を取り付けるときに設定してください。

(1) NAVI MASTER モード

本機を、パイオニア製のDVDナビゲーションと組み合わせた場合のモードです。

操作は、本機とDVDナビゲーションで行います。(DVDナビゲーションシステム「AVIC-D919」「AVIC-D717」「AVIC-D909」「AVIC-D707」での操作は 追加説明書)



DVDナビゲーションシステム「AVIC-D9100」「AVIC-D9000」「AVIC-D7000」と組み合わせた場合は

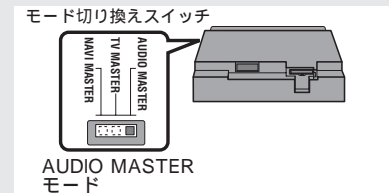
「AVIC-D9100」「AVIC-D9000」「AVIC-D7000」の説明書に、本機と組み合わせた場合の操作方法が記載されています。それぞれの説明書を参照して、正しく操作してください。

(2) AUDIO MASTER モード

本機を、パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合のモードです。

音声は、メインユニットのテレビソースから出力されます。

操作は、本機とメインユニットで行います。

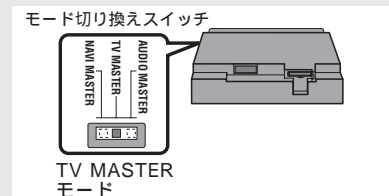


(3) TV MASTER モード

本機を、お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合のモードです。

音声は、カーステレオのラジオ (FM) から出力されます。

操作は、すべて本機で行います。



販売店で取り付けを行った場合は、モード切り換えスイッチをどのモードに切り換えているか確認してください。

パイオニア製のDVDナビゲーション

NAVI MASTER モード

「NAVI MASTERモード」に切り換えてください。

操作は、本機とDVDナビゲーションで行います。

パイオニア製のDVDナビゲーション以外のナビゲーション

パイオニア製のDVDナビゲーション以外のナビゲーションと組み合わせる場合は、「AUDIO MASTERモード」か「TV MASTERモード」のいずれかに切り換えてください。

AUDIO MASTER モード

本機を、パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせた場合のモードです。

音声は、メインユニットのテレビソースから出力されます。

操作は、本機とメインユニットで行います。

TV MASTER モード

本機を、お手持ちのFM付きカーステレオと組み合わせた場合のモードです。

音声は、カーステレオのラジオ (FM) から出力されます。

操作は、すべて本機で行います。

本書は、下記のようにモード別に説明しています。お客様のご使用のモードの項目をお読みください。本機は、モードによって操作方法が一部異なります。

NAVI MASTER モード

「NAVI MASTER モード (NAVI M)」および「共通」の項をお読みください。

AUDIO MASTER モード

「AUDIO MASTER モード (AUDIO M)」および「共通」の項をお読みください。

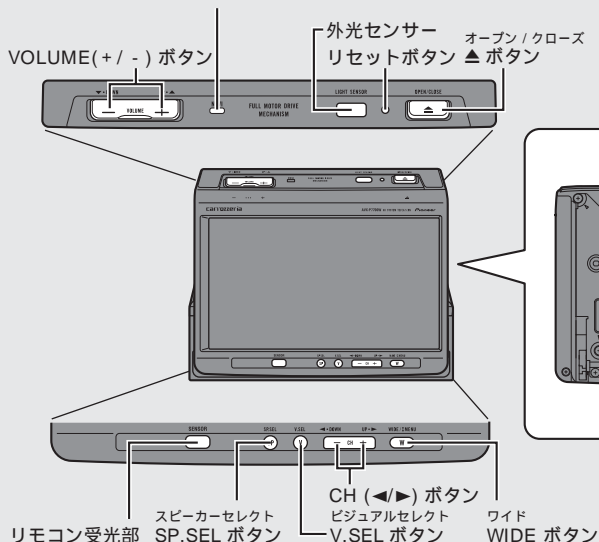
TV MASTER モード

「TV MASTER モード (TV M)」および「共通」の項をお読みください。

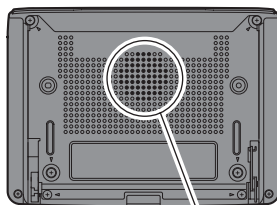
本体

NAVI 電源ランプ

20 ピン RGB 入力に接続したナビゲーションの電源が入っているときに、橙色に点灯します。

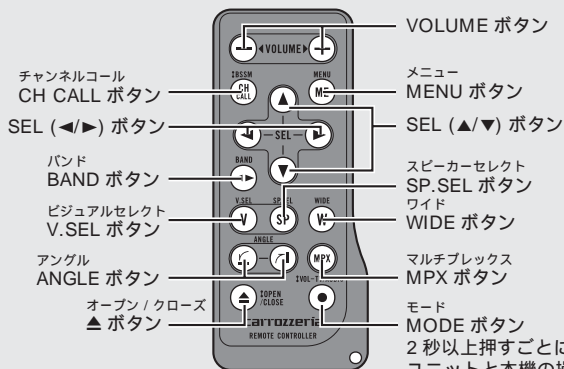


モニター背面



内蔵スピーカー

リモコン

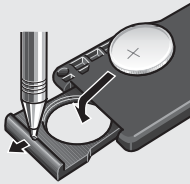


VOLUME ボタン (ナビゲーションが ON の場合)、リセットボタン、▲ ボタン以外のボタンは、モニターが本体に収納された状態では動きません。モニターを立ち上げてから操作してください。

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出しリチウム電池 (CR2032) を、 \oplus 側を上にしてセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコンをメインユニットのモードでお使いの場合、電池を交換したときは本機のモードに戻ることがあります。その場合は、もう一度メインユニットのモードに切り換えてください。

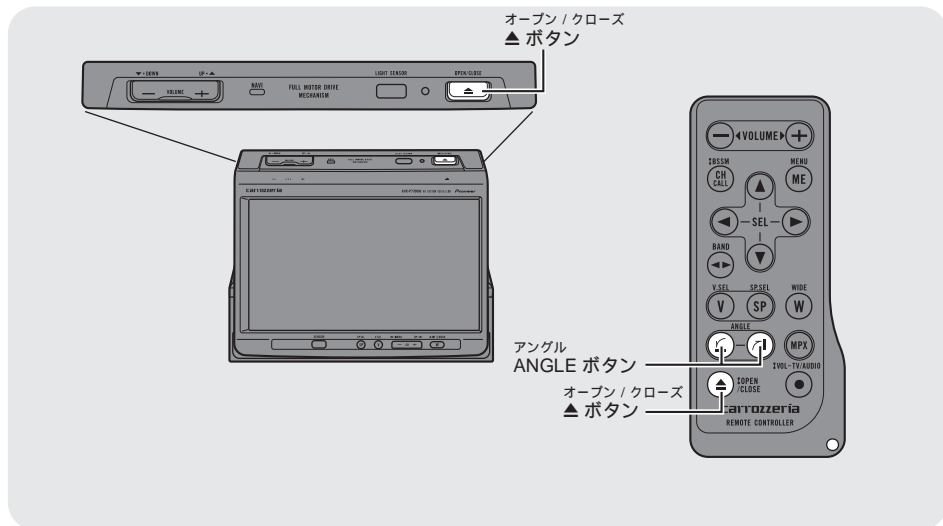
リモコン取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。付属の電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。



メモ

モニターは、自動開閉機能によって、次のように動作します。

- * エンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。
- * NAVI MASTERモードの場合は、ナビゲーションの電源をONにすると、約2秒後に自動的にモニターが立ち上がります。
- * 自動開閉機能は、解除することもできます。(TVの設定 ⑧ 47ページ)

本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしても、モニターは立ち上がりません。▲ボタンを押して立ち上げてください。(リモコンの場合は、▲ボタンを2秒以上押してください。)

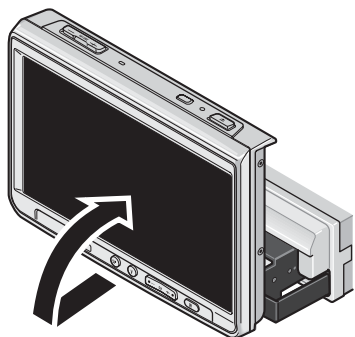
モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、ANGLEボタンの(⌚)を押して、モニターを手前に調節してください。

立ち上がったモニターを後ろに下げることができません(セットバック機能)。(TVの設定 ⑨ 47ページ)

角度調節したモニターを立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

ナビゲーションの電源がONの場合は、ナビゲーションのガイド音声以外の音声を内蔵スピーカーから出力していても、モニターを本体に収納するとナビゲーションのガイド音声に切り換わります。再び、モニターを立ち上げれば収納前の音声に戻ります。

1 車のエンジンをかける



自動開閉機能により、自動的にモニターが立ち上がります。

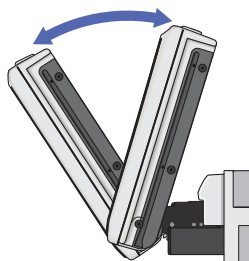
メモ

モニターが自動的に立ち上がらない場合は、▲ボタンを押して立ち上げてください。(リモコンの場合は、▲ボタンを2秒以上押してください。)

2 画面を見やすい角度に調節する

ANGLE ボタンを押す

- ①: 画面を上向きにするとき
- ②: 画面を下向きにするとき

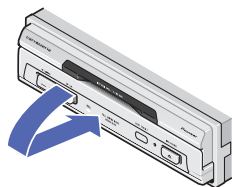


ご注意

角度の調節は、手動で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

3 モニターを本体に収納する

▲ボタンを押す



ご注意

モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、そのまま放置しないでください。故障することがあります。

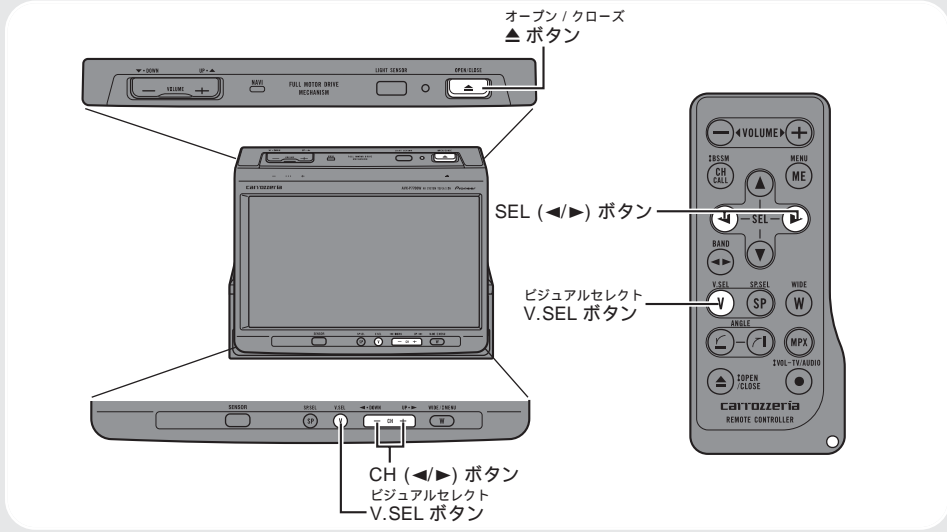
ここだけで 1 テレビのふだんの操作

映像を切り換える

放送局を選ぶ

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

チェック 最初にナビゲーションの電源を入れモニターを立ち上げておいてください。(E3 はじめに 7 14 ページ)



1 テレビの映像にする

V.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように映像が切り換わります。



TV (テレビの映像)

NAVI (ナビゲーションの映像)

VTR (ビデオの映像)

TVに戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR 設定] (E3 TV の設定 4 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの映像には切り換わりません。
ナビゲーションを ON にしていない場合や接続していない場合は、ナビゲーションの映像には切り換わりません。
ナビゲーションのリモコンでも操作できます。(E3 ナビゲーションの取扱説明書)

2 チャンネルを 選局する

CH(◀/▶)ボタンを押す (モニター)
SEL(◀/▶)ボタンを押す (リモコン)

- ▶ : 次のチャンネルを選ぶとき
- ◀ : 前のチャンネルを選ぶとき



バンド 受信チャンネル

通常、受信チャンネルは、緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると受信チャンネルが黄色で表示され“STEREO”が表示されます。また、2カ国語放送を受信すると受信チャンネルが赤色で表示され“BILINGUAL”が表示されます。

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます (SEEK)。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局をおすすめします。電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

メモ

ナビゲーションのリモコンでも操作できます。
(TV ナビゲーションの取扱説明書)

3 カーステレオで テレビの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FMトランスミッターで設定した周波数を受信する (TV TVの設定 ⑥ 45ページ)

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力されます。音量の調節をカーステレオで行ってください。

4 TVの 受信をやめる

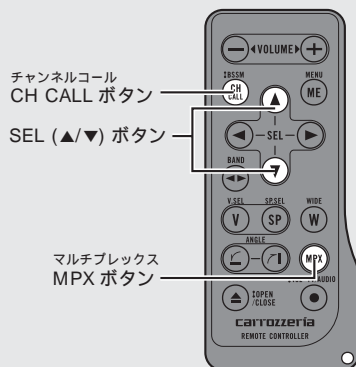
- ▲ ボタンを押す
モニターを収納してください。

メモ

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声を聞くこともできます。)

テレビの音声FM放送と混信する場合は、FMトランスミッターの周波数の設定を直してください。
(TV TVの設定 ⑥ 45ページ)

ナビゲーションのリモコンで、映像切り換えや選局の操作以外にもリスト選局やエリア選局、2画面表示などをさせることができます。
(TV ナビゲーションの取扱説明書)



TVを見る

1

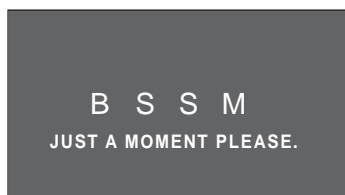
複数のチャンネルを自動的に記憶させる

BSSM

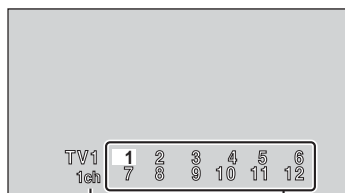
受信状態の良いチャンネルを探して、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させることができます。

1 BSSM を始める

CH CALL ボタンを2秒以上押す



記憶動作中に点滅します。



受信チャンネル 記憶されたチャンネル

記憶が終わると、記憶した中から一番小さいチャンネルを受信します。

メモ

記憶できるチャンネルは、12局です。
 受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
 BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。
 記憶させたチャンネルを呼び出すには (BSSM TVを見る ②)

TVを見る

2

記憶させたチャンネルを呼び出す

プリセットチューニング

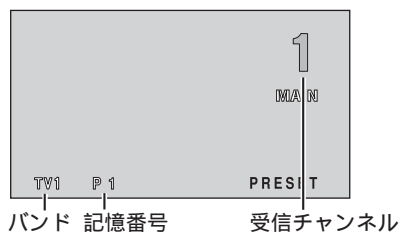
記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたチャンネルを呼び出す

SEL(▲/▼)ボタンを押す (リモコン)

▲ : 次のチャンネルを呼び出すとき

▼ : 前のチャンネルを呼び出すとき



TVを見る

3

2カ国語放送の副音声を聞く

主音声 / 副音声切り換え

2カ国語放送 (音声多重放送) を受信しているときは、主音声 (日本語) や副音声 (外国語) で聞くことができます。

1 聞きたい音声を選ぶ

MPX ボタンを押す (リモコン)

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



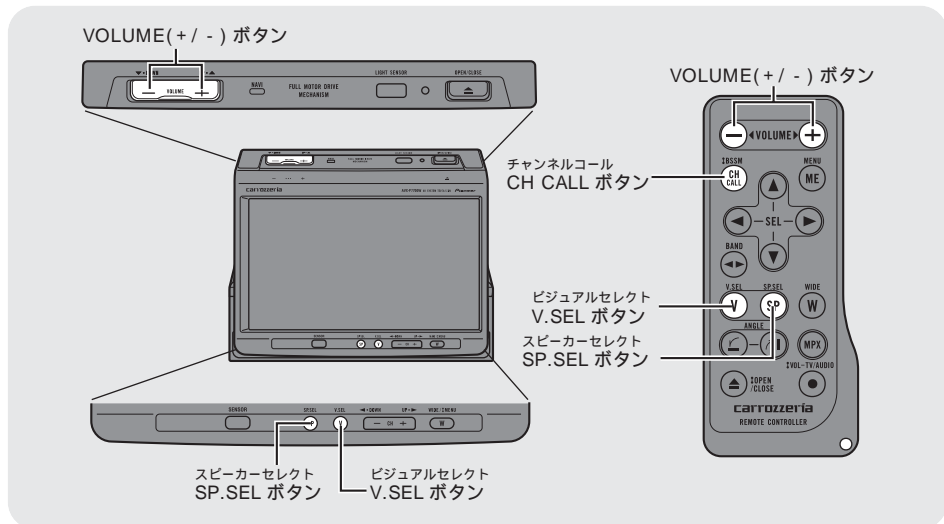
MAIN (主音声)

SUB (副音声)

M + S (主・副音声)

メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語 (例えば英語) で放送します。(逆の場合もあります。)



1 便利な機能 見たい映像を表示させる

ビジュアルセレクト

本機に接続したナビゲーションやポータブルビデオを見ることができます。(☞ 取付説明書)

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(☞ ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V.SEL ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TV (テレビの映像)

NAVI (ナビゲーションの映像)

VTR (ビデオの映像)

TVに戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR設定] (☞ TV の設定 ④ 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの映像には切り換わりません。ナビゲーションを ON にしていない場合や接続していない場合は、ナビゲーションの映像には切り換わりません。ナビゲーションまたはビデオの映像を見ながら他の音声を聞くことができます。

2 便利な機能 内蔵スピーカーから出力される音量を調節する

音量調節

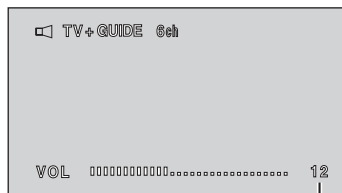
内蔵スピーカーから出力される音声を調節することができます。

1 音量を調節する

VOLUME(+/-) ボタンを押す (モニター/リモコン)

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30 の範囲で調節できます。

内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ

スピーカーセレクト

内蔵スピーカーから出力される音声を切り換えることができます。モニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

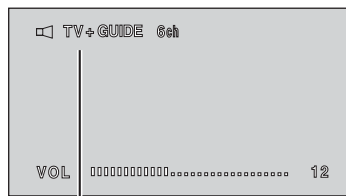
1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(☞ ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 内蔵スピーカーの音声を切り換える

SP.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TV (テレビの音声) + GUIDE

VTR (ビデオの音声) + GUIDE

GUIDE (ナビゲーションのガイド音声)

TV (テレビの音声) + GUIDEに戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR設定] (☞ TV の設定 4 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。

テレビの音声やナビゲーションのガイド音声、ビデオの音声は、内蔵スピーカー (モノラル出力) 以外に、カーステレオのスピーカー (ステレオ出力) から出力することができます。(☞ TV の設定 5 44 ページ)

音声をテレビやビデオにしても、ナビゲーションのガイド音声および操作音がミキシングされて出力されます。

ナビゲーションのオーディオミュート設定で、ガイド音声出力時および音声認識時のミュートのしかたを設定することができます。(☞ ナビゲーションの取扱説明書)

チャンネルを確認する

チャンネルコール/プリセットチャンネル一覧

受信中のチャンネルやバンドなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。

1 表示する

CH CALL ボタンを押す

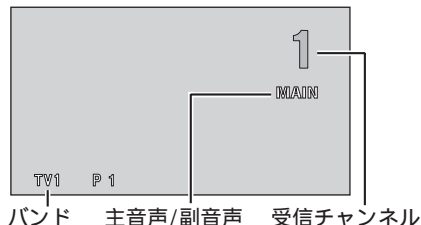
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

チャンネルコール表示

プリセットチャンネル一覧表示

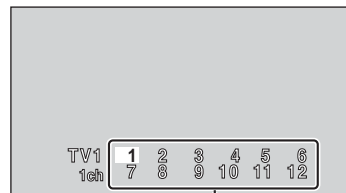
表示 OFF

チャンネルコール表示



バンド 主音声/副音声 受信チャンネル

プリセットチャンネル一覧表示



記憶されているチャンネル (プリセットチャンネル)

メモ

呼び出した表示は、8秒間だけ表示されます。プリセットチャンネルは、リモコンの▲/▼ボタンで選ぶことができます。

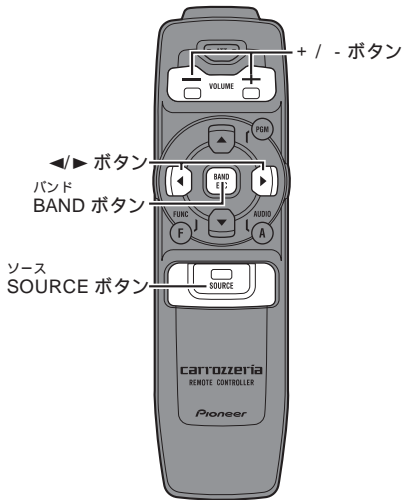
ここだけで 1 テレビのふだんの操作

映像を切り換える

バンドを選ぶ

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

チェック 最初にモニターを立ち上げておいてください。(☞ はじめに 7 14 ページ)



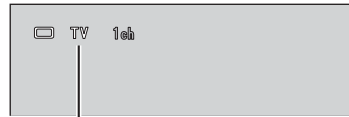
リモコン
(例：DEH-P7700)

1 ソースを テレビにする

SOURCE ボタンを押す
ボタンを押すごとにソースが切り換わります。

2 テレビの映像に する

V.SEL ボタンを押す(モニター / リモコン)
本機の V.SEL ボタンを押すごとに、次のように映像が切り換わります。



TV (テレビの映像)

NAVI (ナビゲーションの映像)

VTR (ビデオの映像)

TVに戻る

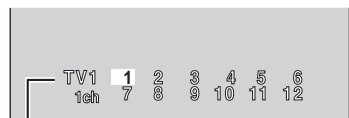
メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR設定] (☞ TV の設定 4 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの映像には切り換わりません。

3 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



TV1 TV2

より多くのチャンネルを記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62chです。)

4 チャンネルを 選局する

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : 次のチャンネルを選ぶとき
- ◀ : 前のチャンネルを選ぶとき



受信チャンネル

通常、受信チャンネルは、緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると受信チャンネルが黄色で表示され“STEREO”が表示されます。また、2カ国語放送を受信すると受信チャンネルが赤色で表示され“BILINGUAL”が表示されます。

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます(SEEK)。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局を、電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

メモ

メインユニットによっては、選局方法切り換えモードで切り換えるものもあります。(☞ TVを見る ⑤ 29ページ)

5 音量を 調節する

- + または - ボタンを押す
- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

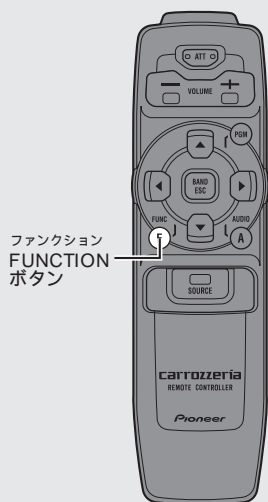
メモ

本書ではDEH-P7700のリモコンで説明しています。DEH-P7700の本体およびDEH-P7700以外のメインユニットで操作する場合は、メインユニットの取扱説明書を参考にして、同じ機能のボタンで操作を行ってください。

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声を聞くこともできます。)

バンドの切り換えは、本機のリモコンで操作することはできません。

選局は、本機でも操作できます。(☞ ここだけで ① 17ページ)



ファンクション
FUNCTION
ボタン

リモコン
(例 : DEH-P7700)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSSM モード (☞ TV を見る ② 26 ページ)

モノラル受信モード ¹

Multiplex モード (☞ TV を見る ④ 28 ページ)

選局方法切り換えモード ²
(☞ TV を見る ⑤ 29 ページ)

BSSM モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹ 本機では、モノラルの操作は行えません。(また、モノラル受信機能が付いていないメインユニットでは、このモードには切り換わりません。)

² 選局方法切り換え機能が付いていないメインユニットでは、このモードには切り換わりません。KEH-P1000 には、ファンクションモードはありません。

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

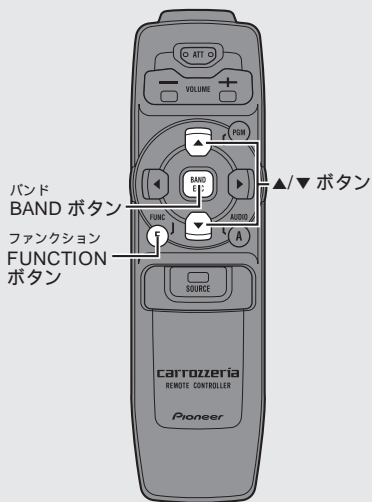
2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
プログラムファンクション設定モードになります。(☞ 便利な機能 ④ 32 ページ)

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

KEH-P1000 には、詳細設定モードはありません。



リモコン
(例: DEH-P7700)

2 TVを見る 複数のチャンネルを自動的に記憶させる

受信状態の良いチャンネルを探して、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(※ ここだけで ① 22 ページ)

2 BSSM モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ TV を見る ① 25 ページ)



3 BSSM を始める

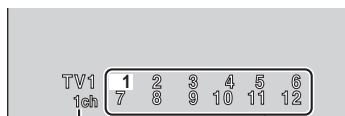
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)
(メインユニットによっては、2 秒以上押します。)



記憶動作中に点滅します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。



受信チャンネル 記憶されたチャンネル

記憶が終わると、1の記憶番号に記憶したチャンネルを受信します。

メモ

記憶できるチャンネルは、1バンドにつき12局です。

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

本機のリモコンのCH CALLボタンを2秒以上押すことで、BSSMを操作することもできます。

記憶させたチャンネルを呼び出すには (☞ TVを見る ②)

メインユニット本体1～6のボタンの1つを2秒以上押すことで、記憶番号1～6に気に入ったチャンネルを1チャンネルずつ手動で記憶させることができます。(手動では、記憶番号7～12に記憶させることはできません。)

KEH-P1000は、Dボタンを2秒以上押すとBSSMを始めます。(もう一度、Dボタンを押すと、BSSMを途中で解除します。)

本機のリモコンでも操作できます。(☞ TVを見る ① 18ページ)

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで ① 22ページ)

2 記憶させたチャンネルを呼び出す

▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき

▼：前の記憶番号のチャンネルを呼び出すとき

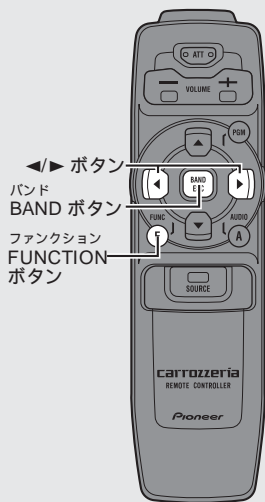


バンド 記憶番号 受信チャンネル

メモ

記憶番号1～6に記憶されているチャンネルは、メインユニット本体の1～6のボタンで直接呼び出すこともできます。(記憶番号7～12を直接呼び出すことはできません。)

本機のリモコンでも操作できます。(☞ TVを見る ② 19ページ)



リモコン
(例：DEH-P7700)

TVを見る 4 2カ国語放送の副音声を聞く

主音声 / 副音声切り換え

2カ国語放送 (音声多重放送) を受信しているときは、主音声 (日本語) や副音声 (外国語) で聞くことができます。

1 Multiplexモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ TVを見る ① 25 ページ)



現在の音声状態が表示されます。

2 聞きたい音声を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Main (主音声)

Sub (副音声)

Main + Sub (主・副音声)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語 (例えば英語) で放送します。(逆の場合もあります。)

KEH-P1000は、RPT ボタンを押すごとに主音声/副音声が切り換わります。

本機のリモコンでも操作できます。(☞ TVを見る ③ 19 ページ)

チャンネルの選局方法について

選局方法

本機でチャンネルを選局するには、2つの方法があります。

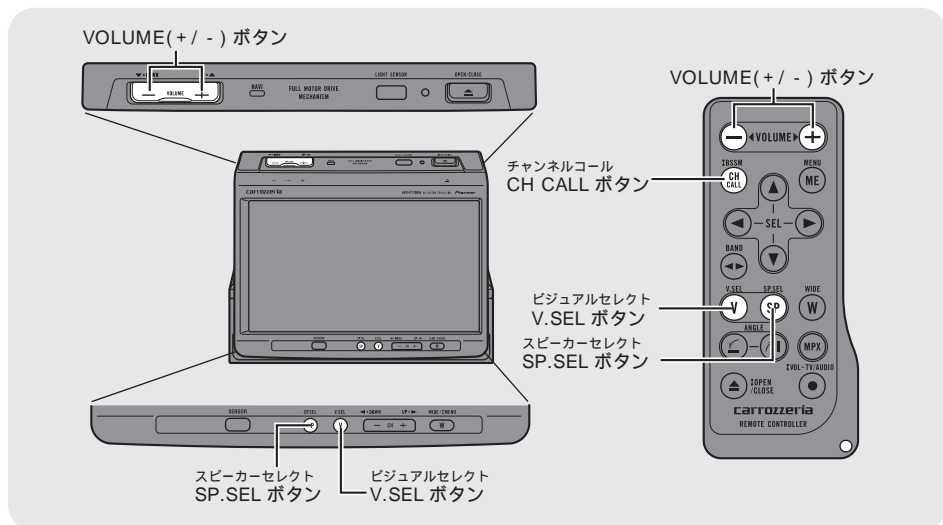
自動選局について

自動的に受信状態の良いチャンネルを受信します。

ボタンを0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

手動選局について

手でチャンネルをあわせて選局します。ボタンを0.5秒以内で離すと1ステップずつチャンネルを選ぶことができます。電波が弱く、自動選局ではとばしてしまうチャンネルを受信するのに便利です。



便利な機能
1

見たい映像を表示させる

ビジュアルセレクト

本機に接続したナビゲーションやポートブルビデオを見ることができます。(☞ 取付説明書)

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(☞ ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TV (テレビの映像)

NAVI (ナビゲーションの映像)

VTR (ビデオの映像)

TVに戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の[VTR設定](☞ TVの設定 ④ 43ページ)をONにしている場合は、ビデオの映像には切り換わりません。ナビゲーションをONにしている場合や接続していない場合は、ナビゲーションの映像には切り換わりません。
ナビゲーションまたはビデオの映像を見ながらメインユニットの各ソースの音声を聞くことができます。

便利な機能
2

内蔵スピーカーから出力される音量を調節する

音量調節

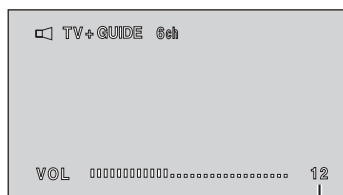
内蔵スピーカーから出力される音声を調節することができます。

1 音量を調節する

VOLUME(+/-)ボタンを押す (モニター/リモコン)

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30の範囲で調節できます。

内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ スピーカーセレクト

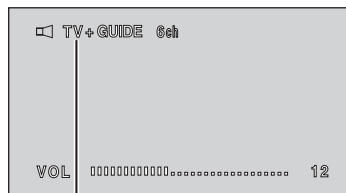
内蔵スピーカーから出力される音声を切り換えることができます。モニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 内蔵スピーカーの音声を切り換える

SP.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TV (テレビの音声) + GUIDE

VTR (ビデオの音声) + GUIDE

GUIDE (ナビゲーションのガイド音声)

TV (テレビの音声) + GUIDE に戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR 設定] (TV の設定 ④ 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。ナビゲーションの電源が OFF または接続されていないときは、「OFF」と表示されます。テレビの音声やナビゲーションのガイド音声、ビデオの音声は、内蔵スピーカー (モノラル出力) 以外に、カーステレオのスピーカー (ステレオ出力) から出力することができます。(TV の設定 ⑤ 44 ページ)
ナビゲーションの電源が ON のときは、音声をテレビやビデオにしている、ナビゲーションのガイド音声および操作音がミキシングされて出力されます。

チャンネルを確認する

チャンネルコール/ プリセットチャンネル一覧

受信中のチャンネルやバンドなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。

1 表示する

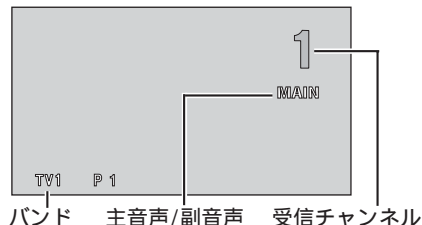
CH CALL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

チャンネルコール表示

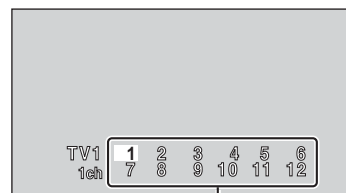
プリセットチャンネル一覧表示

表示 OFF

チャンネルコール表示



プリセットチャンネル一覧表示



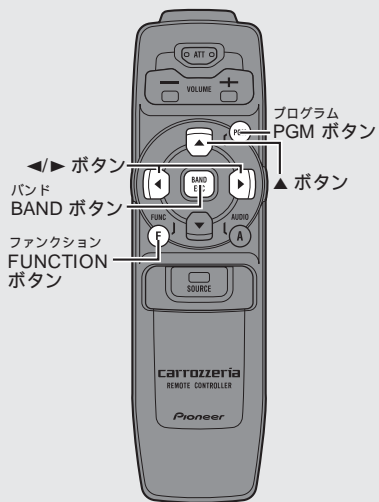
記憶されているチャンネル (プリセットチャンネル)

メモ

呼び出した表示は、8秒間だけ表示されます。プリセットチャンネルは、リモコンの▲/▼ボタンで選ぶことができます。

よく使う機能を学習させる

よく使う機能を、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、BSSMが学習されています。)



リモコン
(例：DEH-P7700)

1 PGMモードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す
(TV を見る ① 25 ページ)



2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSSM

モノラル ¹

Multiplex

選局方法切り換え ²

3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

BAND ボタンを押して、PGM モードを解除してください。

4 学習させた機能进行操作する

PGM ボタンを押す

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

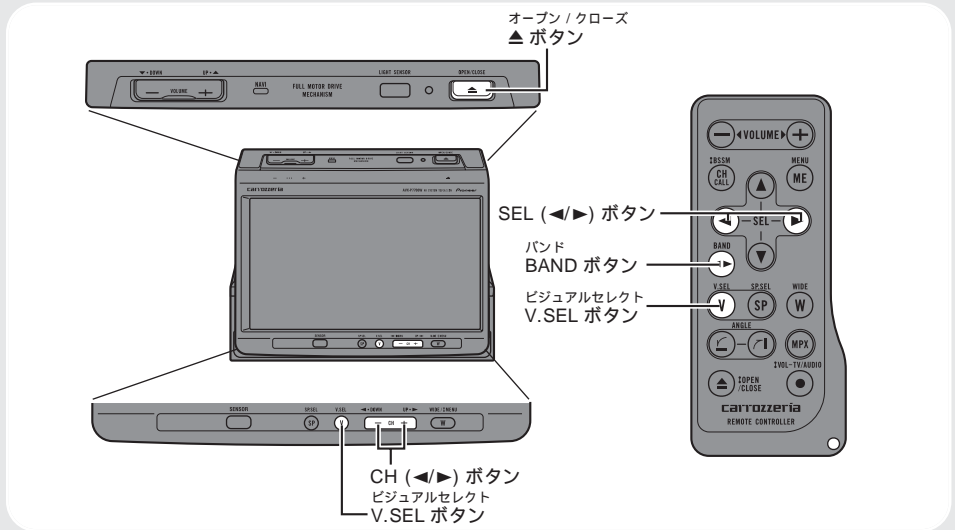
学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSSM	OFF	ON
モノラル ¹	-----	-----
Multiplex	切り換え	-----
選局方法切り換え ²	切り換え	-----

メモ

- モノラル受信機能が付いていないメインユニットでは、このモードには切り換わりません。このモードに切り換わるメインユニットでも、本機では、モノラルの操作は行えません。(PGM ボタンに学習させないでください。)
- 選局方法切り換え機能 (E TV を見る ⑤ 29 ページ) が付いていないメインユニットでは、このモードには切り換わりません。KEH-P1000 には、プログラムファンクションはありません。

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

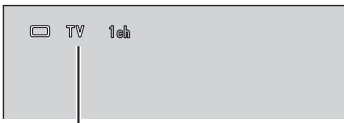
チェック 最初にモニターを立ち上げておいてください。(☞ はじめに 7 14 ページ)



1 テレビの映像にする

V.SEL ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように映像が切り換わります。



TV (テレビの映像)

NAVI (ナビゲーションの映像)

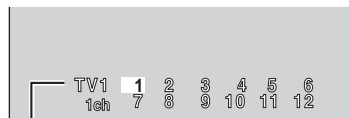
VTR (ビデオの映像)

TVに戻る

2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



TV1 TV2

より多くのチャンネルを記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できるチャンネルはどちらも1～62chです。)

3 チャンネルを 選局する

CH(◀/▶)ボタンを押す (モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す (リモコン)

▶ : 次のチャンネルを選ぶとき

◀ : 前のチャンネルを選ぶとき



バンド

受信チャンネル

通常、受信チャンネルは、緑色で表示されます。ステレオ放送を受信すると受信チャンネルが黄色で表示され“STEREO”が表示されます。また、2カ国語放送を受信すると受信チャンネルが赤色で表示され“BILINGUAL”が表示されます。

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中のチャンネルをとばすことができます(SEEK)。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強いチャンネルを選局するには、自動選局を、電波の弱いチャンネルを選局するには、手動選局をおすすめします。

4 カーステレオで テレビの音声を聞く

カーステレオのラジオ (FM) で、FMトランスミッターで設定した周波数を受信する (☞ TV の設定 ④ 45 ページ)

カーステレオのスピーカーからテレビの音声が出力されます。音量の調節をカーステレオで行ってください。

5 TV の 受信をやめる

▲ ボタンを押す

モニターを収納してください。

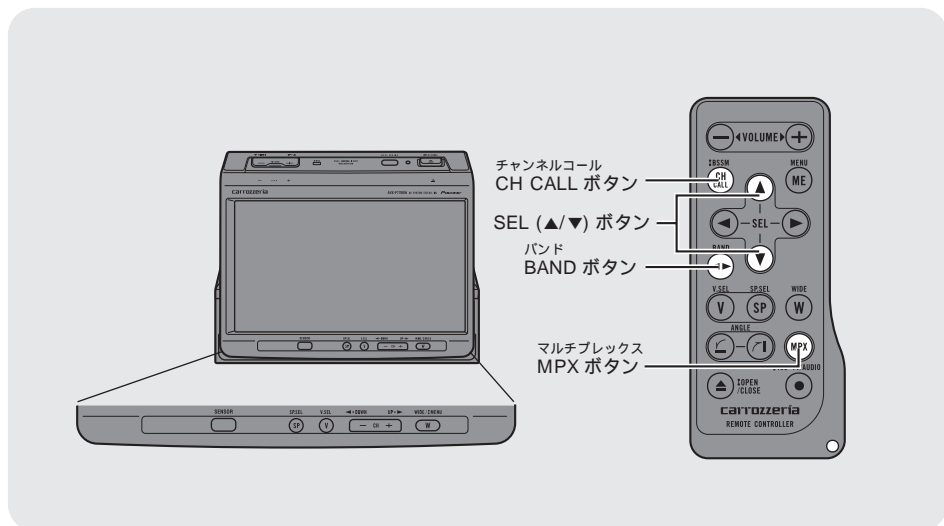
メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR 設定] (☞ TV の設定 ④ 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの映像には切り換わりません。

ナビゲーションを ON にしていない場合や接続していない場合は、ナビゲーションの映像には切り換わりません。

走行中にテレビの映像を見ることはできませんが、テレビの各操作を行うことはできます。(音声を聞くこともできます。)

テレビの音声 FM 放送と混信する場合は、FM トランスミッターの周波数の設定を切り換えてください。(☞ TV の設定 ④ 45 ページ)



TVを見る

1

複数のチャンネルを自動的に記憶させる

BSSM

受信状態の良いチャンネルを探して、自動的にチャンネルの小さい順に記憶させることができます。

1

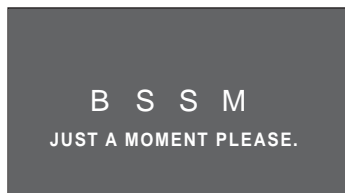
記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで ① 34 ページ)

2

BSSM を始める

CH CALL ボタンを 2 秒以上押す



記憶動作中に点滅します。

TV1	1	2	3	4	5	6
1ch	7	8	9	10	11	12

受信チャンネル 記憶されたチャンネル

記憶が終わると、記憶した中から一番小さいチャンネルを受信します。

メモ

記憶できるチャンネルは、1バンドにつき12局です。

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

記憶させたチャンネルを呼び出すには (☞ TVを見る ②)

TVを見る

2

記憶させたチャンネルを呼び出す

プリセットチューニング

記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

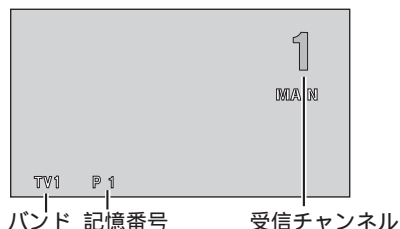
BAND ボタンを押す

( ここだけで ① 34 ページ)

2 記憶させたチャンネルを呼び出す

SEL(▲/▼)ボタンを押す (リモコン)

- ▲ : 次のチャンネルを呼び出すとき
- ▼ : 前のチャンネルを呼び出すとき



TVを見る

3

2カ国語放送の副音声を聞く

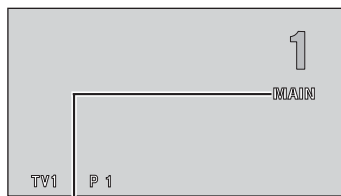
主音声 / 副音声切り換え

2カ国語放送 (音声多重放送) を受信しているときは、主音声 (日本語) や副音声 (外国語) だけを聞くことができます。

1 聞きたい音声を選ぶ

MPX ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



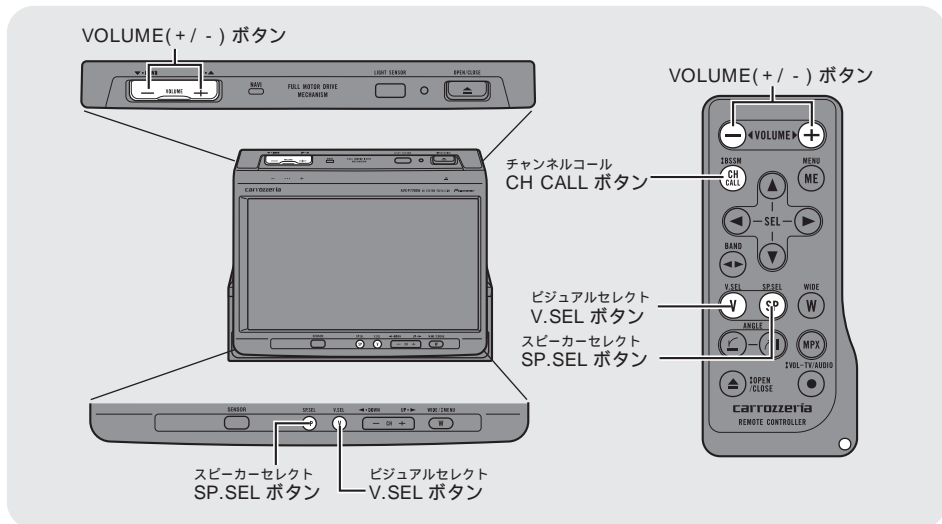
MAIN (主音声)

SUB (副音声)

M + S (主音声 + 副音声)

メモ

洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。2カ国語放送を受信すると受信チャンネルが赤色で表示され「BILINGUAL」が表示されます。2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語 (例えば英語) で放送します。(逆の場合もあります。)



便利な機能 1 見たい映像を表示させる

ビジュアルセレクト

本機に接続したナビゲーションやポータブルビデオを見ることができます。(E3 取付説明書)

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(E3 ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 ナビゲーションまたはビデオの映像にする

V.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TV (テレビの映像)

NAVI (ナビゲーションの映像)

VTR (ビデオの映像)

TVに戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR 設定] (E3 TV の設定 ④ 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの映像には切り換わりません。ナビゲーションを ON にしていない場合や接続していない場合は、ナビゲーションの映像には切り換わりません。

ナビゲーションまたはビデオの映像を見ながらメインユニットの各ソースの音声を聞くことができます。

便利な機能 2 内蔵スピーカーから出力される音量を調節する

音量調節

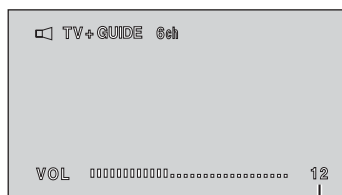
内蔵スピーカーから出力される音声を調節することができます。

1 音量を調節する

VOLUME(+/-) ボタンを押す (モニター/リモコン)

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき



0 ~ 30 の範囲で調節できます。

内蔵スピーカーから出力される音声を選ぶ スピーカーセレクト

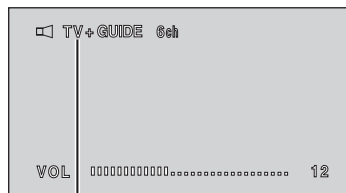
内蔵スピーカーから出力される音声を切り換えることができます。モニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

1 ナビゲーションまたはビデオの電源を入れる

(ナビゲーションまたはビデオの説明書)

2 内蔵スピーカーの音声を切り換える

SP.SEL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TV (テレビの音声) + GUIDE

VTR (ビデオの音声) + GUIDE

GUIDE (ナビゲーションのガイド音声)

TV (テレビの音声) + GUIDE に戻る

メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR 設定] (TV の設定 ④ 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。ナビゲーションの電源が OFF または接続されていないときは、「OFF」と表示されます。テレビの音声やナビゲーションのガイド音声、ビデオの音声は、内蔵スピーカー (モノラル出力) 以外に、カーステレオのスピーカー (ステレオ出力) から出力することができます。(TV の設定 ⑤ 44 ページ)
ナビゲーションが電源が ON のときは、音声をテレビやビデオにしているても、ナビゲーションのガイド音声および操作音がミキシングされて出力されません。

チャンネルを確認する

チャンネルコール / プリセットチャンネル一覧

受信中のチャンネルやバンドなど、現在の受信状態を表示させることができます。また、現在のバンドに記憶されているチャンネルを、一覧表示させることもできます。

1 表示する

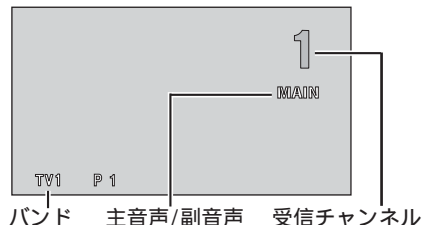
CH CALL ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

チャンネルコール表示

プリセットチャンネル一覧表示

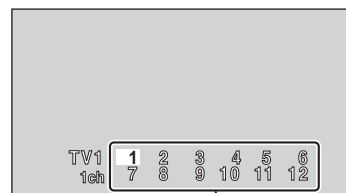
表示 OFF

チャンネルコール表示



バンド 主音声/副音声 受信チャンネル

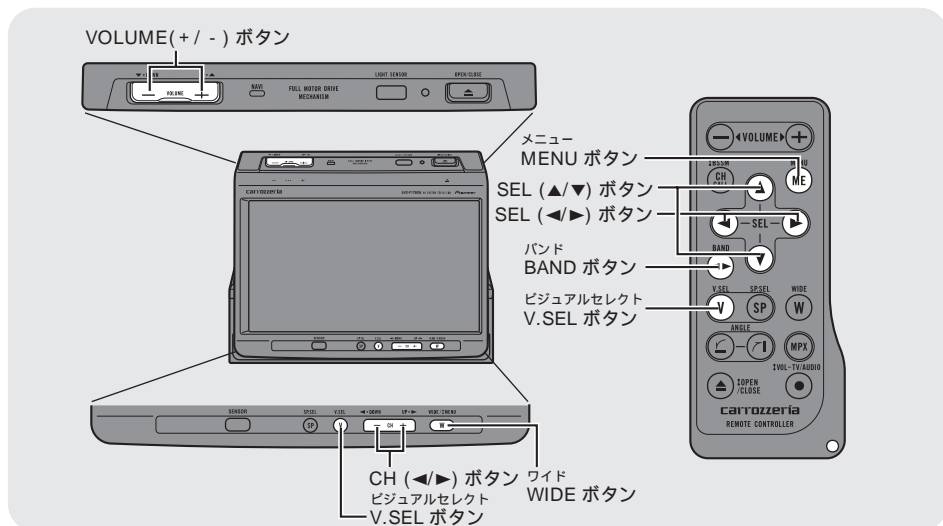
プリセットチャンネル一覧表示



記憶されているチャンネル (プリセットチャンネル)

メモ

呼び出した表示は、8秒間だけ表示されます。プリセットチャンネルは、リモコンの▲/▼ボタンで選ぶことができます。



TVの設定

1

設定メニューの切り換えかた

本機をより便利にお使いいただくために、各機能の設定や調整を行うことができます。お使いの環境や好みに合わせて設定を変更してください。

1 設定メニューを表示する

- WIDE ボタンを2秒以上押す (モニター)
- MENU ボタンを押す (リモコン)

2 設定メニューを選ぶ

- WIDE ボタンを押す (モニター)
- MENU ボタンを押す (リモコン)
- ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

画質調整モード
 (☞ TV の設定 ② 41 ページ)

FM トランスミッター設定モード
 (☞ TV の設定 ⑥ 45 ページ)

入出力設定モード
 (☞ TV の設定 ④ 43 ページ)

フラップ設定モード
 (☞ TV の設定 ⑧ 47 ページ)

設定メニュー OFF

映像の黒の濃さや色を調整する

黒の濃さ / コントラスト / 色の濃さ / 色あい

お好みに合わせて、映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）、色の濃さ、色あいを変更できます。ナビゲーション、テレビ、ビデオなどの映像で設定内容が別々に記憶されます。

1 調整したい映像を選ぶ

V.SEL ボタンを押す

(☞ 便利な機能 ① 20 ページ)

2 画面調整モードにする

(☞ TV の設定 ① 40 ページ)

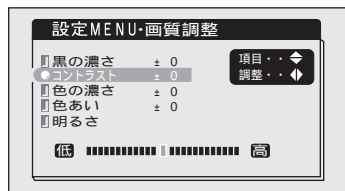
3 調整したい項目を選ぶ

VOLUME (+ / -) ボタンを押す (モニター)

SEL (▲ / ▼) ボタンを押す (リモコン)

+ または ▲ : 上の項目を選ぶとき

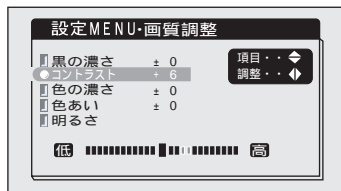
- または ▼ : 下の項目を選ぶとき



4 調整する

CH (◀ / ▶) ボタンを押す (モニター)

SEL (◀ / ▶) ボタンを押す (リモコン)



それぞれ - 24 ~ + 24 の範囲で調整できます。

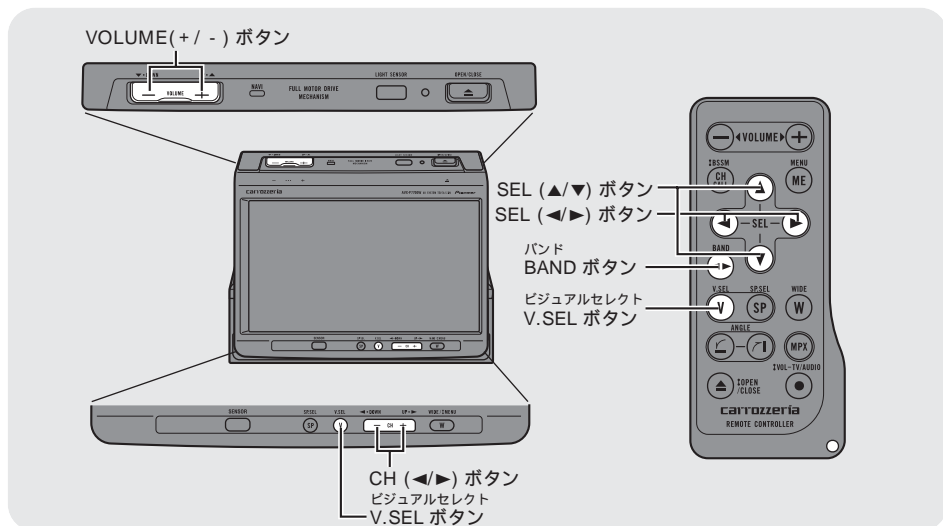
調整項目	◀ 側	▶ 側
黒の濃さ	黒が薄くなる	黒が濃くなる
コントラスト (明暗)	白黒の差が小さく なる(暗くなる)	白黒の差が大きく なる(明るくなる)
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	肌色が赤がる	肌色が緑がる

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

車のライトがOFFのとき (明るい昼間) と、ONのとき (暗い夜間) でも、調整内容が別々に記憶されません。(“明るさ”は別々に記憶することはできません。)

ナビゲーションの映像では、色の濃さと色あいは調整できません。



TVの設定
3

液晶画面の明るさを調整する

明るさ

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。本機では、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します。お客様の好みに合わせて、明るめに設定したり暗めに設定することもできます。

1 調整したい映像を選ぶ

V.SEL ボタンを押す

(☞ 便利な機能 ① 20 ページ)

2 画面調整モードにする

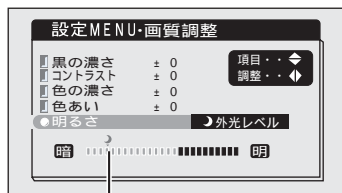
(☞ TV の設定 ① 40 ページ)

3 明るさを選ぶ

VOLUME (+/-) ボタンを押す (モニター)

SEL (▲/▼) ボタンを押す (リモコン)

TV モニター前面の外光センサーが周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。



☾ (青) : 暗いとき (夜間)

* (黄) : 明るいとき (昼間)

接続したビデオを見る時は、次の手順でビデオを表示できるように設定を変更します。

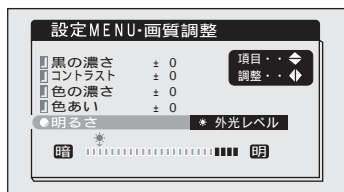
4 明るさを調整する

CH(◀/▶)ボタンを押す(モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

▶ : 明るくするとき

◀ : 暗くするとき



BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

明るさは、調整時の外光レベル(暗いとき/明るいとき)によって、調整内容が別々に記憶されます。それぞれの外光レベルで設定されている明るさを元にして、周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさが自動的に調整されます。

1 入出力設定モードにする

(TVの設定 ① 40 ページ)

2 VTR設定をONにする

CH(◀/▶)ボタンを押す(モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す(リモコン)

[ON] ビデオの映像や音声に切り換わるようになります。

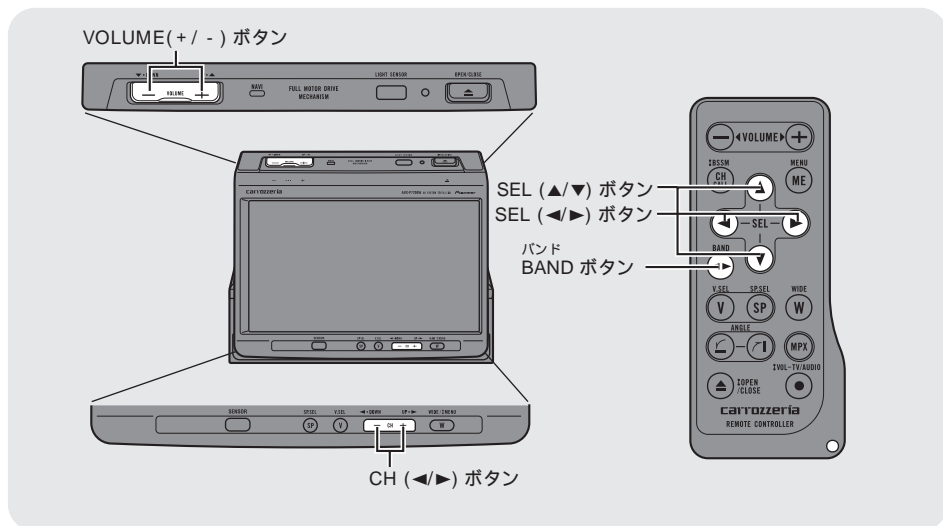
[OFF] ビデオの映像や音声には切り換わりません。



BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

RCA映像/音声入力にナビゲーションを接続した場合は、ビデオとして扱われます。RCA映像/音声入力に何も接続していないときは、VTR設定を“OFF”にしてください。



5 テレビの設定 カーステレオのスピーカーで聞く音声を選ぶ

音声出力の設定

カーステレオのスピーカーから出力される音声を切り換えることができます。モニターに表示されている映像とは別の映像の音声を聞くこともできます。

1 入出力設定モードにする (☞ TV の設定 ④ 40 ページ)

次の中から選ぶことができます。

[TV] テレビの音声が出力されます。

[VTR] ビデオの音声が出力されます。

(VTR 設定を ON にした場合のみ)

[GUIDE] ナビゲーションの音声 (ガイド音声) が出力されます。

2 音声出力を選ぶ

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

VOLUME(+/-) ボタンを押す (モニター)

SEL(▲/▼) ボタンを押す (リモコン)



メモ

設定メニュー・入出力設定の [VTR 設定] (☞ TV の設定 ④ 43 ページ) を ON にしていない場合は、ビデオの音声には切り換わりません。ナビゲーションを ON にしていない場合や接続していない場合は、ナビゲーションの音声には切り換わりません。

NAVI MASTER モードの場合に、テレビやビデオの音声をカーステレオのスピーカーで聞くときは、ナビゲーションの音声ソースを「テレビ」に切り換えてください。ナビゲーションの音声ソースが「テレビ音声オフ」に設定されていますと [音声出力] の切り換えができません。(☞ ナビゲーションの取扱説明書)

3 出力させたい音声の種類を選ぶ

AUDIO MASTER モードの場合に、テレビやビデオの音声をカーステレオのスピーカーで聞くときは、カーステレオのソースを「テレビ」に切り換えてください。カーステレオのソースが「テレビ」以外に設定されていますと [音声出力] の切り換えができません。(☞ ナビゲーションの取扱説明書)
CD-ROM ナビゲーションを 20 ピン RGB 入力に接続してお使いの場合は、ナビゲーションの音声は、カーステレオのスピーカーからは出力されません。内蔵スピーカーから出力してください。

CH(◀/▶) ボタンを押す (モニター)

SEL(◀/▶) ボタンを押す (リモコン)

音声をFMラジオで聞く

FMトランスミッターの設定

ナビゲーションやテレビ、ビデオの音声をFM電波にのせて出力し、その電波をFM付きカーステレオで受信して、カーステレオのスピーカーから音声を聞くことができます。

1 FMトランスミッター設定モードにする(☞ TVの設定 ① 40ページ)

2 FMトランスミッター設定をONにする

CH(◀▶)ボタンを押す(モニター)

SEL(◀▶)ボタンを押す(リモコン)



4 出力させたい周波数を選ぶ

CH(◀▶)ボタンを押す(モニター)

SEL(◀▶)ボタンを押す(リモコン)

76.4 ~ 78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。

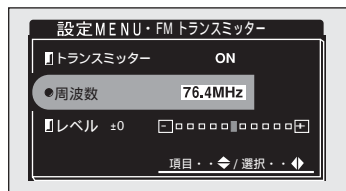


BANDボタンを押して、設定メニューを解除してください。

3 周波数を選ぶ

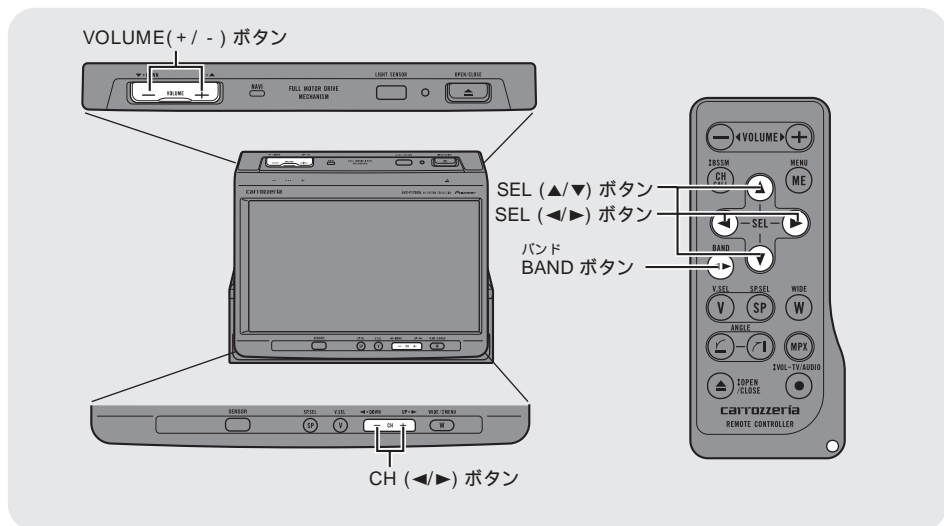
VOLUME(+/-)ボタンを押す(モニター)

SEL(▲/▼)ボタンを押す(リモコン)



メモ

FMトランスミッターを使用して、FM付きカーステレオで音声を聞いた場合、送信用アンテナの取り付け場所やラジオのアンテナによっては、ノイズが出たり、感度が落ちる場合があります。FMトランスミッターを使用したときに、他のFM放送と混信する場合は、手順4で他の送信周波数を選んでください。FMトランスミッターの実用到達距離は約2mです。(法律により電波の強さが規制されています。)AUDIO MASTERモードの場合は、IP-BUSケーブルで本機とカーステレオを接続することができます。この場合、FMトランスミッターの設定はできません。(☞ 取付説明書)FMトランスミッターを使わないときは、必ず「OFF」にしてください。



TVの設定 7 FM トランスミッターのレベルを調整する

FM トランスミッターのレベル調整

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いていて、普通のFM放送と音量が違っていていると感じた場合は、FM トランスミッターのレベルを調整して、FM 放送の音量と合わせてください。

1 FM トランスミッター設定モードにする (設定 TV の設定 ① 40 ページ)

2 レベルを選ぶ

VOLUME (+/-) ボタンを押す (モニター)

SEL (▲/▼) ボタンを押す (リモコン)



3 レベルを調整する

CH (◀/▶) ボタンを押す (モニター)

SEL (◀/▶) ボタンを押す (リモコン)



レベルは、-6 ~ +6 の範囲で調整できません。FM 放送の音が小さく聞こえるときは、レベルを大きくしてください。

本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを小さくしてください。

BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

FM トランスミッターの設定 (設定 TV の設定 ⑥ 45 ページ) がOFFになっているときは、レベルを選ぶことはできません。

モニターの 自動開閉の設定

自動開閉

モニターがシフトレバーに当たってしまうときや、モニターの立ち上げを自動的に行いたくないときは、自動開閉の設定を“OFF”にすることができます。

1 フラップ設定モードにする

(☞ TVの設定 ① 40 ページ)

2 自動開閉設定をOFFにする

CH(◀/▶)ボタンを押す (モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す (リモコン)



BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

モニターを 自動で後ろに下げる

セットバック

セットバック機能は、モニターを立ち上げた後に、自動的にモニターを後ろに下げる機能です。

1 フラップ設定モードにする

(☞ TVの設定 ① 40 ページ)

2 セットバックを選ぶ

VOLUME (+/-) ボタンを押す (モニター)

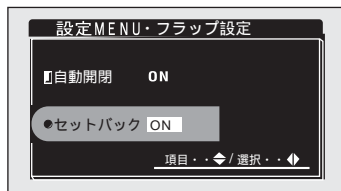
SEL(▲/▼) ボタンを押す (リモコン)



3 セットバック設定をONにする

CH(◀/▶)ボタンを押す (モニター)

SEL(◀/▶)ボタンを押す (リモコン)

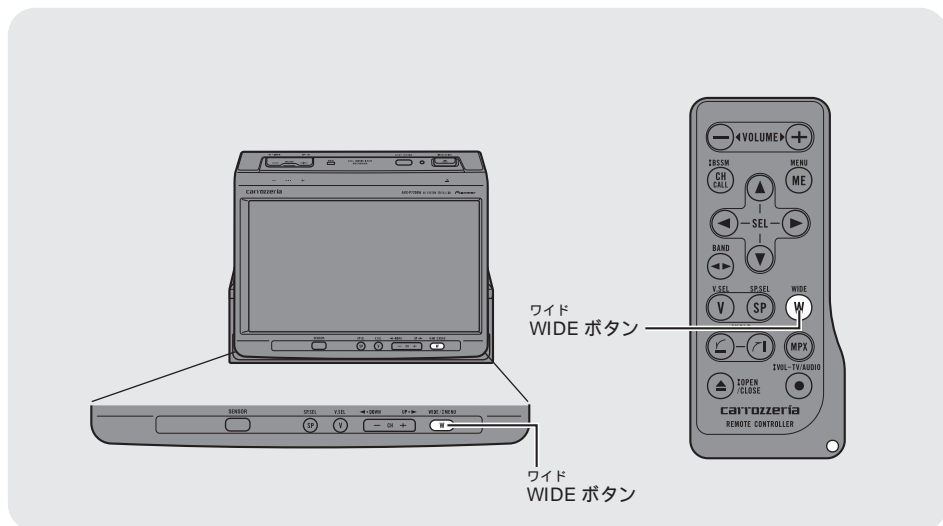


BAND ボタンを押して、設定メニューを解除してください。

メモ

セットバック機能でモニターを本体に押し付けたときのモニターの角度は、セットバック機能を解除したときより下向きになります。

セットバック時に、モニターが車のボタンなどの突起物に当たると、角度調節がうまくできない場合があります。このような場合は、セットバックの設定を“OFF”にしてください。



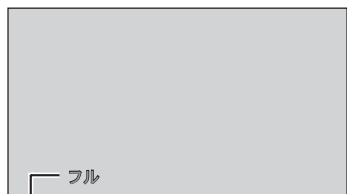
1 ワイド画面の拡大のしかたを切り換える

ワイドモード (フル / ジャスト / シネマ / ズーム / ノーマル)

4 : 3の映像を16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。通常のテレビ番組を見るときや、映画を見るときなど、お好みに合わせて切り換えてください。

1 画面の表示方法を選ぶ

WIDE ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



フル

ジャスト

シネマ

ズーム

ノーマル

フルに戻る

メモ

ワイドモードの設定内容は、映像ごとに記憶されます。

映像画面のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。

設定メニュー (TVの設定 40ページ) を表示しているときは、ここでの設定に関係なく常にフルになります。

通常のテレビ放送の番組をフルで見るなど、映像比率が異なるモードを選べると、本来の映像と見えかたに差が出ます。

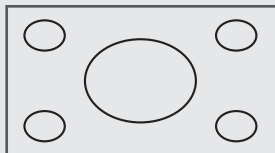
本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能 (フル、ズームなど) を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ナビゲーションのリモコンでも操作できます。(ナビゲーションの取扱説明書)

「シネマ」「ズーム」で映像を見るときは、画質が粗くなります。

フル

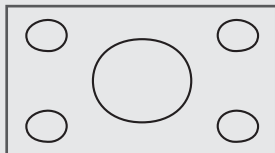
4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。



テレビの4 : 3 の映像 (通常の映像) が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。

ジャスト

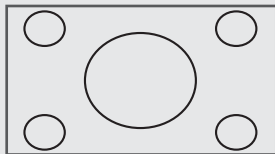
中央付近は少し、両端ほど横に拡大します。



4:3 の映像をワイド画面でも違和感の少ない状態で楽しむことができます。

シネマ

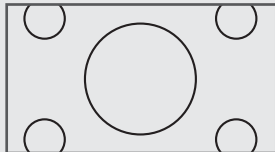
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。



字幕が映像の外にある、映画サイズの映像 (横長の映像) に適したモードです。

ズーム

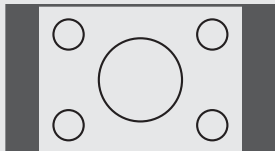
4 : 3 の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。



映画サイズの映像 (横長の映像) に適したモードです。

ノーマル

4 : 3 の映像をそのまま表示します。



通常の映像と同じですので、違和感がありません。

この映像にはこのワイドモードをおすすめします

テレビの4 : 3 の映像
(通常の映像)



フルまたはジャスト
(シネマやズームにすると、映像の上下が欠けてしまいます。)

映画サイズの映像
(横長の映像)



ズーム
(映画サイズの映像は、上下に黒帯が付いていますので、ズームが適しています。)

字幕が映像の外にある、映画サイズの映像
(横長の映像)



シネマ
(ズームでは欠けてしまう、映像の外の字幕を表示できます。)

取扱上のご注意

温度が - 10度以下または + 50度以上になるところでは、お使いにならないでください。

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用していないときは、本体にモニターを収納してください。

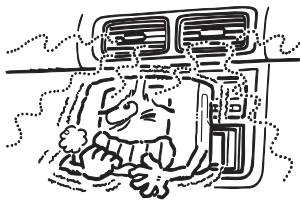
モニターの液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。



モニターを立ち上げたときに、モニターの上に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち上げ、収納を手動で行ったりしないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。



モニターを立ち上げたときに、モニターがエアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。



モニターの立ち上げや収納のときに、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、モニターが動かなくなることがあります。モニターが動かなくなった場合は、はさまった物を取り除いてもう一度▲ボタンを押してください。



エアバックなど安全装置装着車の場合、安全装置の作動に支障のないようご注意ください。

液晶画面について

モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)がでることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

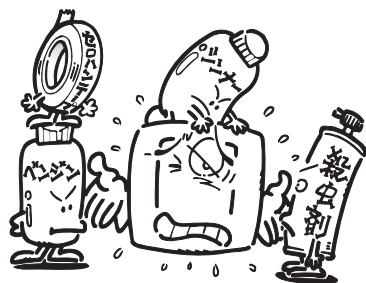
お手入れについて

画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(☞ その他 ④ 54
ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス(☞ その他 ⑤ 55ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。 画面が正しく表示され ない。	各リード線や各コネクタが正 しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。(☞ 取付説 明書)
	モード切り換えスイッチの設定 が適切でない。	組み合わせたシステムに合ったモードに 切り換えてください。(☞ はじめに ② 9 ページ)
車のエンジンスイッチを OFFにしてもモニター が収納されない。	自動閉閉機能が解除されている。	自動閉閉機能をONにしてください。 (☞ TVの設定 ⑧ 47ページ)
映像の色が薄い。 または濃い。	[色の濃さ]または[色あい]の 調整が適切でない。	[色の濃さ]を調整してください。 (☞ TVの設定 ② 41ページ)
		[色あい]を調整してください。 (☞ TVの設定 ② 41ページ)
映像が明るい。 映像が暗い。	[コントラスト]の調整が適切 でない。	[コントラスト]を調整してください。 (☞ TVの設定 ② 41ページ)
液晶画面の中に、小さ な黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではあ りません。	—
映像がキザキザに表示 される。	ワイド画面特有の現象で、 故障ではありません。	—
液晶画面が暗い。	[明るさ]の調整が適切でない。	[明るさ]を調整してください。 (☞ TVの設定 ③ 42ページ)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと 画面が暗くなることがありますので、 ヒーターで車内の温度を上げてください。

共通項目 (つづき)

症 状	原 因	処 置
映像と音声が入っていない。	映像と音声を別々のソースを選んでいる。	設定を切り換えてください。 NAVI M (E38 便利な機能 ① 20 ページ) AUDIO M (E38 便利な機能 ① 30 ページ) TV M (E38 便利な機能 ① 38 ページ)
カーステレオの音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節する。 NAVI M (E38 FM 付きカーステレオの説明書) AUDIO M (E38 ここだけで ① 23 ページ) TV M (E38 FM 付きカーステレオの説明書)
	FM トランスミッターの設定が“OFF”になっている。 (NAVI M、TV M のとき)	設定を切り換えてください。(E38 TV の設定 ⑥ 45 ページ)
	FM 付きカーステレオの受信周波数が合っていない。 (NAVI M、TV M のとき)	本機の送信周波数とFM 付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。 (E38 FM 付きカーステレオの説明書)
カーステレオのラジオが聞きづらい。	FM トランスミッターを使用しないときに、FM トランスミッターの設定が“ON”になっている。	FM トランスミッターを使用しないときは、FM トランスミッターの設定を“OFF”にしてください。(E38 TV の設定 ⑥ 45 ページ)

テレビ

症 状	原 因	処 置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 NAVI M (E38 ここだけで ① 17 ページ) AUDIO M (E38 ここだけで ① 23 ページ) TV M (E38 ここだけで ① 35 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 NAVI M (E38 ここだけで ① 17 ページ) AUDIO M (E38 ここだけで ① 23 ページ) TV M (E38 ここだけで ① 35 ページ)
	周りに障害物があるなど受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 NAVI M (E38 ここだけで ① 17 ページ) AUDIO M (E38 ここだけで ① 23 ページ) TV M (E38 ここだけで ① 35 ページ)

本機のマイコンを初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタン (E3) はじめに (E 12ページ) を押すと、本機のマイコンが初期設定状態 (ご購入直後の状態) に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

モードスイッチを切り換えたとき。

本機が正しく動作しないとき。

画面が正しく表示されないとき。

なお、リセットボタンを押すと、本機は、初期状態に戻ります。本機の記憶 (FM トランスミッターの設定や記憶させたチャンネルなど) が消去されますので、もう一度セットし直してください。

リセットボタンを押す前に

リセットボタンを押すと、自動的にモニターの立ち上げ/収納動作をします。収納に支障がないか確かめてから、リセットボタンを押してください。

1 本体をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す

モニターは自動的に立ち上げまたは、収納されます。

メモ

リセットボタンを押すと、モニターが収納されている場合には、立ち上がりません。またモニターが立ち上がっている場合には、一旦収納され、立ち上がっている状態に戻ります。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 2.0 A
外形寸法 (本体)	
(取付寸法)	: 178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm
(ノーズ寸法)	: 172 (W) × 47 (H) × 20 (D) mm
(モニター)	: 171 (W) × 128 (H) × 24 (D) mm
リモコン	: 40 (W) × 92 (H) × 6 (D) mm
質量	
本体	: 1.8 kg (コードユニット含まず)
リモコン	: 20 g (電池含む)

モニター部

画面サイズ	: 7.0 インチワイドディスプレイ
有効表示面積	: 154 × 87 mm
有効画素数	: 336,960 画素 (1,440 × 234)
方式	: TFT アクティブマトリクス方式 透過型
エッジライト	: 冷陰極コの字管
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
スライド角度	
調整範囲	: 約 50° ~ 110° (初期設定角度 90°)
内蔵スピーカー	: 36 mm

TV アンテナ部

外形寸法	: 30 (W) × 190 (H) × 25 (D) mm (収納時、アンテナベース含まず)
質量	: 270 g (コード含む、片側)
出力端子	: 3.5 ミニプラグ × 4
アンテナ	
ケーブル	: 6m

TV チューナー部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
実用感度	: 6 dB μ (75 、モノラル音声)
映像 S/N	: 40 dB 以上 (59 dB μ 入力、白 100%)
映像雑音	
制限感度	: 40 dB μ
クロストーク	: 主 副 35 dB 以上 副 主 40 dB 以上
S/N	: 60 dB (IHF-A ネットワーク)
ステレオ	
セパレーション	: 30 dB (1 kHz)
外部映像	
入力レベル	: 1 Vp-p/75
外部音声最大	
入力レベル	: 1 V/22 k
外部音声最大	
出力レベル	: 1 V/1 k
アンテナ入力	: 4 ch ダイバーシティ
FM トランスミッター	
使用周波数	: 76.4 ~ 78.4 MHz (0.1 MHz 間隔で可変)

付属品

TV アンテナ	: 1 式
リモコン	: 1
リチウム電池	
(CR2032)	: 1
RGB ケーブル	: 1
コード類	: 1 式
取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
追加説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・ 修理窓口のご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

本機は日本国内専用です。放送規格の違う外国ではご使用になれません。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

< ご注意 > PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2000

< 00D00F0J01 > < CRA3005-A >